

御園座の俳優に親しまれた伏見店

一九四七（昭和二十二）年、名古屋市中区広小路通りの伏見店に開設した直営喫茶部を皮切りに、当社は広い意味での外食産業に参入します。

その背景には、豆の販売先である喫茶店やコーヒー専門点、ホテル、レストランなどへの技術、経営指導に役立つ経験を自らが積む狙いもありました。

直営店の展開はエンドユーザーであるお客様の好みをいち早く的確につかみ、豆を選んだり、ブレンドに生かしたりするための大きな力になっています。

現在は後述する「季楽」と「久音」の二店舗だけですが、将来は喫茶ばかりでなく、小売部門を併設した、さまざまなタイプの店舗を揃えたいと願っています。

この章では、これまでに当社が手がけてきた直営喫茶部門の足取りを追っていきたいと思います。

当社が手がけた最初の直営店である伏見店は名古屋の目抜き通りである広小路通りと伏見通りの交差点の北西角にありました。

この地域は名古屋有数のビジネス街の一つで、近くにはこの地方を代表する繊維問屋街が控えており、いつも活気にあふれていました。

それぞれの通り沿いには全国主要銀行の名古屋支店が軒を連ね、大小さまざまなホテルや映画館なども点在していました。